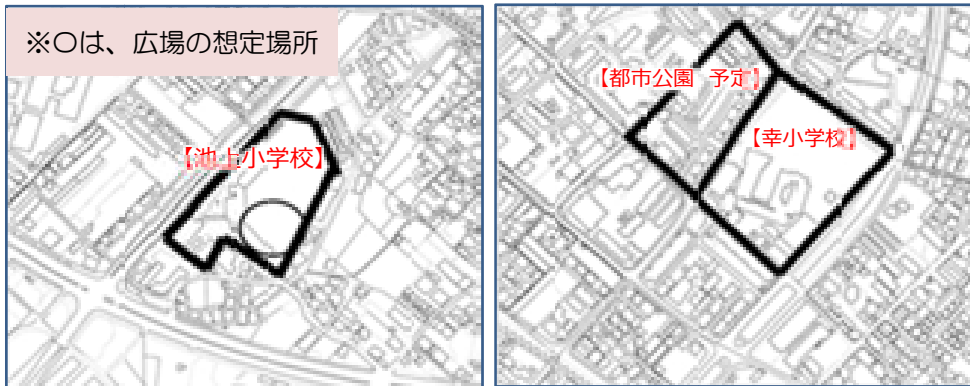


⑤跡地利用

【事務局の説明】

（池上小学校）
校舍等は除却し、まちに必要な機能を確保。広場に防災機能を確保。

（幸小学校）
校舍等は除却し、まちに必要な機能を確保。近隣の市営住宅跡地に都市公園を整備し、防災機能を確保。



【グループ協議での意見】

- ・池上小学校の跡地に老人集会所と町会館を集約できないか。
- ・跡地利用に関する具体的なイメージが知りたい。
- ・幸小学校と池上小学校は、指定避難所であるため、防災機能の確保は非常に重要である。
- ・幸小学校の跡地に子どもたちが遊べる場所を確保してほしい。
- ・跡地に住宅等が建った場合、新しく引越してきた方が、地域になじみやすい取組みを進めてほしい。等

【今後の予定】

今回のグループ協議では、特に「通学対策」についての質問や活発な意見交換を交わしました。次回は、もう少し具体的なイメージを示しながら、意見交換を深めていくこととします。地域みなさんからも「こんな教育ができるといい。」「これからは、こんなことをやってほしい。」等のご意見を下記のとおりメール登録の上、お寄せいただきますよう、よろしくお願いします！

（問合せ先）教育・こども部 教育総務課 0725-99-8196

メール登録で 情報をお届け! & ご意見をお寄せください!

メール登録をしていただければ、富秋中学校区の新しい学校の検討についての情報を受け取ることができます。また、みなさんからのご意見もお寄せください。登録はアドレス宛て、もしくは下記 QR コードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」を記載のうえ、ご返信ください。



【tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp】



富秋中学校区（池上小学校、幸小学校、富秋中学校）

ミライの学校を創るプロジェクト News No.1

※このチラシは、隣接する信太小学校区にも配布しています。 令和2年7月 和泉市

富秋中学校区では、平成30年2月から地域の方々が中心となり「富秋中学校区等まちづくり検討会議」を発足し、公共施設の再編をきっかけに新たなまちづくりを進めていくための“道しるべ”となる「まちづくり構想（地域案）」を策定しました。この地域案を受け、市では公共施設の再編や再編により生じた跡地の活用を行うことにより、公共施設の最適配置の実現を図るとともに、地域課題を解決し、持続可能なまちづくりに向けた取組事項を定めた「富秋中学校区等まちづくり構想」を令和2年3月に策定しました。

（主な内容）

- ・施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の導入に向けた取組み
- ・市営住宅の集約建替え
- ・対象区域の公共施設の集約に伴う多世代交流拠点の設置
- ・公共施設の再編に伴い生じる跡地の利活用の方向性

和泉市教育委員会事務局では、富秋中学校区における施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の導入検討の推進に向けた「富秋中学校区ミライの学校を創るプロジェクト」をスタートさせるところです。

【第1回プロジェクト会議開催】

（プロジェクトメンバー）

各校PTA代表、各校区長、まちづくり検討会議委員、就学前児童保護者

【第1回プロジェクト会議の内容】

①事務局からの説明

- ・これまでの経過、それぞれの学校の現状、今年度の予定等に関する説明

②グループ協議

（協議内容）

- ・学校の取組み状況 ・新設校イメージ
- ・通学対応 ・就学区域 ・跡地利用

③協議内容の全体共有



第1回プロジェクト会議の様子

【グループ協議について】

① 学校の取組み状況

【事務局の説明】

- 中学校と小学校が一緒になることの不安を解消するために実施していることの説明
→ **3校連携の促進、情報共有の促進、細やかな支援が実施されていることを説明**
- 池上小、幸小、富秋中の「今」について
池上小 → 「校歌の贈呈」、「平和学習」
幸小 → 「対話的学び」の促進、「英語学習」
富秋中 → 「朝の検温+会話」、「自主学習力の向上」



YouTubeによる情報発信

【グループ協議での意見】

- ・地域の声として、富秋中学校の生徒が良くなってきているという話がでてくるようになってきている。
- ・良い取組みについて、もっと積極的に情報発信をしていくべき。
- ・取組み状況について、うまくいっている部分と課題について、もっと詳しく知りたい。
- ・言葉づかいは、児童・生徒のイメージや学校全体のイメージにつながる部分であるため、取組みに力を入れてほしい。等

② 新設校のイメージ

【事務局の説明】

- **地域とともにある学校をめざす。**
→ 学校開放の充実、子どもや地域の居場所づくり、地域活動の拠点
- **地域の交流拠点となる学校図書館設置をめざす。**
- 多様な異学年交流を実施。
- 5年生から部活動に参加できる仕組みづくり。



新しい学校図書館
イメージ

【グループ協議での意見】

- ・新しい学校ができることによるメリットだけでなくデメリットも示してほしい。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面にも力を入れてほしい。
- ・3クラス確保できる形が望ましい。
- ・開校までに、小学校間の違いを揃えていく取組みが必要。
- ・講堂を残してほしい。等

③ 通学対応

【事務局の説明】

- 施設一体型義務教育学校とする方針決定後、想定する通学路を確認し、ハード面・ソフト面について開校までに必要な対応を実施していく
- ↓
- ・危険箇所の確認
 - ・グリーンベルト、歩道等の整備
 - ・地域との連携 等



地域による見守り活動

【グループ協議での意見】

- ・取組みの考え方をもっと具体的に示してほしい。
- ・踏切対策についてしっかり取組んでほしい。
- ・市と地域が一体となった見守り活動を促進していく必要がある。
- ・防犯カメラやグリーンベルト等のハード対策が必要。等



グリーンベルト整備

④ 就学区域

【事務局の説明】

- (現在の富秋中学校区の就学先)
- 池上小学校に入学 → 富秋中学校へ進学
 - 幸小学校に入学 → 富秋中学校へ進学
 - 葛の葉町 → 信太小学校へ入学 → 富秋中学校に進学するか信太中学校に進学するか選択できる。



(施設一体型義務教育学校が新設された場合)

現在のコミュニティ形成を踏まえると、**葛の葉町にお住まいの方は、信太小学校・信太中学校への就学か施設一体型義務教育学校への就学かを選択できる形を検討している。**

【グループ協議での意見】

- ・葛の葉町から新しい学校への就学人数が増えるような魅力づくりが必要。
- ・葛の葉町へこれまでの経過や取組みを説明する機会があると良い。等